

平成 29 年 12 月 26 日

ペースメーカー/ICD 関連情報提供者 (CDR) に関する日本不整脈デバイス工業会※の方針
— 平成 30 年 7 月 1 日以降の活動について —

一般社団法人日本不整脈デバイス工業会
会長 岩浅 敦二

CDR 認定制度は、植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器 (ICD) 等の適正かつ安全な使用のために、専門的な知識と技術を有し、高い倫理観を備えた医療情報提供者の育成を目的として平成 20 年に創設され、平成 30 年には創設 10 年を迎えます。

平成 27 年 3 月、日本不整脈心電学会が CDR に関する改正ポリシーステートメントを発表し、その中で改めて、臨床現場での情報提供者として CDR の認定取得が必要と述べられております。

これを受けて、平成 28 年 2 月に当工業会は、日本不整脈心電学会のポリシーステートメントに強く賛同し、創設 10 年を迎える平成 30 年 7 月 1 日以降は、CDR 認定取得者のみが臨床現場での医療情報提供者として従事する方針を示しました。

この方針に基づいて活動するにあたり、医療機関ならびに関係各位へのご理解を賜りたく、改めて本書にてお知らせ致します。

なお、日本不整脈心電学会のポリシーステートメントにて定められた『CDR の役割に関する指針』に基づく医療施設内での活動では、院内規定、学会ガイドライン、各種法規、行政指導を遵守して行うことは言うまでもありませんが、その重要性に鑑みここに強調致します。

以上

※ 日本不整脈デバイス工業会 (JADIA : Japan Arrhythmia Device Industry Association) :
植込み型ペースメーカー、ICD 等の心臓疾患の治療機器 (以下「本製品」という) の製造販売業者及び販売業者 (総発売元に限る) の会員企業間の意思の疎通を図り、業界の健全な発展と、本製品の品質の向上促進に努めることをもって国民の健康と公共福祉の増進に寄与することを目的とした、一般社団法人。以下の会員企業で構成されています。

- セント・ジュード・メディカル株式会社
- 日本光電工業株式会社
- 日本メドトロニック株式会社
- 日本ライフライン株式会社
- バイオトロニックジャパン株式会社
- フクダ電子株式会社
- ポストン・サイエンティフィック・ジャパン株式会社
- 株式会社ジェイ・エム・エス
- リヴァノヴァ株式会社